

東海 NEWS WEB

「アニマルパス」で生態系保全

04月09日 09時49分



愛知県東浦町の自動車部品メーカーの工場で、「アニマルパス」と呼ばれる動物の通り道を作ったところ、夜間にこの道を通して移動するきつねの姿が確認されるようになり、生態系の保全につながる企業の取り組みとして注目されています。

「アニマルパス」は工場や道路などの建設で分断された森林の間をつなぐ通り道のことです。森林に生息する動物たちの生育環境の保全に役立つと期待されています。自動車部品メーカーの「豊田自動織機」では去年春、愛知県東浦町にある工場の敷地内に長さ250メートル、幅2メートルほどの「アニマルパス」を設けました。設置にあたっては、生態系に詳しい専門家の意見を取り入れながら、敷地内の雑草を刈ったり、栄養のある土を敷いたりして分断された森林をつないだということです。アニマルパスの設置後、夜間にこの道を通して移動するきつねの姿が確認されるようになったということで、生態系の保全につながる企業の取り組みとして注目されています。

豊田自動織機環境室の生川和孝さんは「今後、効果を検証した上で生物多様性に配慮した取り組みとしてほかの工場への展開も検討していきたい」と話しています。

シェアする ?

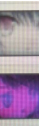
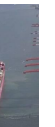


東海のニュース

住宅近くの風車規制へ署名開始へ 4月15日 12時44分

動画

全

NT
dc日本また入院し
今度は食通感?

東